

生産は続伸も、住宅着工は前月から一転し減少 持家、貸家の減少が響く

11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、4カ月連続の前年同月比プラスとなった。化学工業（前年同月比+19.3%）や汎用・生産用機械工業（同+17.2%）など6業種が上昇した。

12月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+2.6%と2カ月連続のプラス、専門量販店別では、ドラッグストアが同+5.6%と31カ月連続のプラスとなった。

12月の新設住宅着工戸数は、2カ月ぶりの前年同月比マイナスとなった。利用関係別では、持家および貸家が同マイナスとなり、着工戸数を押し下げた。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



前年同月比4カ月連続プラス(11月)

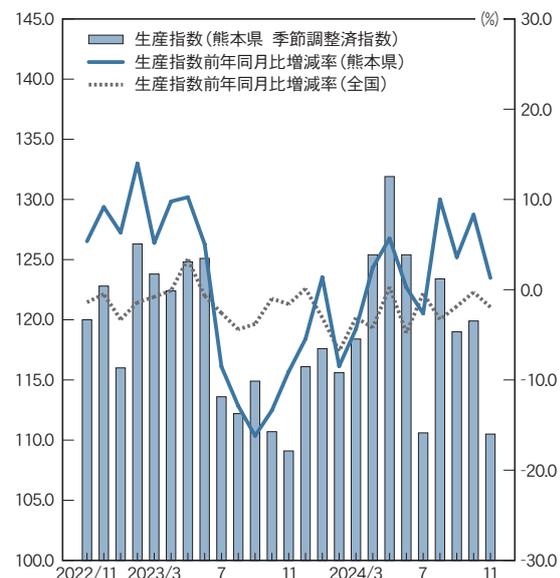
11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比+1.3%の110.5と4カ月連続のプラスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、化学工業（前年同月比+19.3%）や汎用・生産用機械工業（同+17.2%）など6業種が上昇した。一方で、電気機械工業（同▲15.6%）や食料品・たばこ工業（同▲11.1%）など11業種が低下した。

業種別寄与度を見ると、輸送機械工業が+0.68ポイント、化学工業が+0.48ポイント、木材・木製品工業が+0.14ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路（原指数）は182.9（同▲3.4%）と下落した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は2カ月ぶり前年比マイナス(12月)

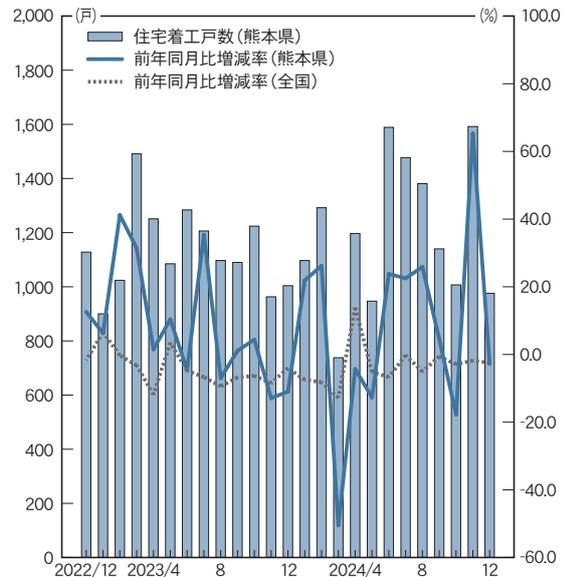
12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲2.8%の976戸となり、2カ月ぶりのマイナスとなった。

利用関係別にみると、持家が313戸（前年同月比▲9.8%）、貸家は445戸（同▲9.4%）、分譲は217戸（同+30.7%）となっている。

持家が前年同月比マイナスとなるのは6カ月ぶり。また、11月に大きく増加した貸家の着工戸数が一転し、2カ月ぶりのマイナスとなった。

なお、全国の12月の新設住宅着工戸数は、62,957戸（同▲2.5%）となっており、8カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比マイナス(1月)

1月の公共工事件数は前年同月比▲11.1%の265件となり、請負金額は同▲23.1%の150

億86百1千万円（前年同月比▲23.1%）に減少し、以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、国会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

